

1. 科目名（単位数）	専門演習（2 単位）		3. 科目番号	EDOT4198 EJOT4199
2. 授業担当教員	宋 暁鈞			
4. 授業形態	講義、問題演習、意見発表		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	3 年間履修してきたことを基礎として、選択することが望ましい。			
7. 講義概要	本授業は、日本語教師にとって必要な基礎学力養成を目標とする。基礎学力とは、日本語教師の教養及び日本語専門を中心としながら課題設定や研究能力の向上等も含めている。そして学生各自のスキルアップを図ることを目指している。 具体的には、「留学生の健康観および健康づくりの取り組み」と題して、受講生は各自の興味に基づいて「留学生の喫煙に関する調査」や「留学生の朝食意識に関する調査」等のテーマを設定し、必要な質問紙調査を実施しながら、資料を収集し、関連情報の分析も行う。そして数回にわたって研究発表を行い討議する。その研究成果を論文としてまとめることを目指す。			
8. 学習目標	最終学年としてこれまでの授業や実習等で学んだことをもとに、各自が理論的あるいは実践的な課題を設定して担当教員の指導も受けながら自主的、主体的に取り組みその成果をまとめる。			
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	毎授業ごとにレポート課題に関わる文献・資料・データ・情報等の収集、討論、発表。 レポート課題 各自の研究テーマにより、その概要をまとめ完成させる。 ※A4/約 7～8 枚（約 3,000 字）でまとめる。第 15 回授業後提出。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 必要に応じて随時参考資料を配布する。 【参考書】 各自の研究テーマにより、健康・スポーツ・身体についての関連文献や書籍を選択すること。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	各担当教員が示す。			
12. 受講生へのメッセージ	本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的のため、以下の事を守ることが期待されている。 1. 学生には常に集中力を保って受講し、積極的な態度で授業に参加すること。理解できない問題をそのまま放置しないこと。自ら進んで教員に質問することを望む。 2. 各自の課題に対して、自ら関連文献を収集し、論文としてまとめ、口頭発表を繰り返し練習する事をすすめる。 3. マスメディアに外国人学生に関する情報も多数紹介されるので、関心を持ってチェックすること。 4. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。 特に、携帯電話の操作は絶対にしないこと。 上記のことをした場合はその理由を必ず教師に書面をもって報告すること。 教員は以下のことを実行する。 1. 授業の目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。 2. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加（発言、発表等）できるよう双方向対話型の学習環境を作る。 3. 授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。			
13. オフィスアワー	授業のない時間帯に何時でも研究室で受け付ける。どんな事でも気軽にきて相談することができる。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第 1 回	【健康の自己観察Ⅰ】 各自の健康状態を「自記式健康チェック票（THI）」調査によって明らかにする。		事前学習	専門演習の学習用ノートを準備し、講義へ臨むこと。
			事後学習	「自記式健康チェック票（THI）」の測定方法と意義を理解したもて、THI 調査紙調査を行い、学習用ノートに各自の調査内容をまとめる。
第 2 回	【健康の自己観察Ⅱ】 THI 調査結果から、各自の健康状態について把握し、課題を発見する。		事前学習	各自の健康状態・健康観について何か考えておく。
			事後学習	学習用ノートに各自の計画を立てる。研究テーマとは何か考えておく。
第 3 回	【健康の自己観察Ⅲ】 課題解決の方法を考え、討論し、研究の方向性を決める。		事前学習	研究したい内容や研究テーマを再び考えておく。
			事後学習	設定した研究テーマの妥当性について再考する。組立てた研究論旨を学習用ノートにまとめる。

第 4 回	【課題Ⅰ】—① 留学生の喫煙習慣とストレスとの関わり：何故留学生の喫煙者が多いのか、ストレスとの関連性について考え、討論する。	事前学習	留学生の喫煙習慣とストレスの関わりについて考えておく。
		事後学習	何故留学生の喫煙者が多いのか、ストレスとの関連性について、考案した内容を学習用ノートにまとめる。
第 5 回	【課題Ⅰ】—② 「喫煙の健康に及ぼす影響について」の文献を収集する。医学的知見について学習する。	事前学習	「喫煙の健康に及ぼす影響について」関連のある文献をどのように収集するか考えておく。
		事後学習	学んだ医学的内容を各自の学習用ノートにまとめ、再学習する。
第 6 回	【課題Ⅰ】—③ 喫煙と発癌性との関連性を探り、主流煙と副流煙の危害性について、グループで討論・発表する。	事前学習	喫煙は身体にどのような悪影響を与えるのか考えておく。
		事後学習	配布したプリントの内容を各自の学習用ノートにまとめ、再学習する。
第 7 回	【課題Ⅰ】—④ ストレスによる身体の変化（心身相関・心身症）について学び、その解消法について考える。	事前学習	何故ストレスが身体に変化を起こさせるのかを考えておく。
		事後学習	各自のストレス解消法を学習用ノートにまとめる。
第 8 回	【課題Ⅱ】—① 生体リズムについて学び、考える。	事前学習	生体のリズムとは何か考えておく。
		事後学習	生体リズムと自律神経系の関わりを学習用ノートにまとめる。
第 9 回	【課題Ⅱ】—② 朝食の必要性や、睡眠と起床の関連性について生理学の観点から学ぶ・理解する。	事前学習	朝食の必要性や、睡眠と起床の関連性について考えておく。
		事後学習	消化器系や神経系等、学習した医学的内容を学習用ノートにまとめる。
第 1 0 回	【課題Ⅱ】—③ 睡眠の深さと生体リズム	事前学習	睡眠の深さと生体リズムについて考えておく。
		事後学習	正しい生活習慣を守ることの必要性について、その内容を学習用ノートにまとめる。
第 1 1 回	【課題Ⅱ】—④ 日々の生活習慣：労働、睡眠・起床について含めて考え、健康づくりの計画を立案し、実践する。	事前学習	健康づくりの計画とは何か考えておく。
		事後学習	各自の健康づくりの計画についてその内容を学習用ノートにまとめる。
第 1 2 回	【課題発表、検討会Ⅰ】	事前学習	各自がまとめたものをベースに、報告用資料を作成する。課題の発表準備を行う（資料の精査及び発表手順の確認）。
		事後学習	発表した内容について、不足点の修正や補足を行う。
第 1 3 回	【課題発表、検討会Ⅱ】	事前学習	再び発表の準備を行う（資料の精査及び発表手順の再確認）。
		事後学習	学習用ノートに書かれている研究結果を元に、論文を作成する。
第 1 4 回	【課題発表、検討会Ⅲ】	事前学習	各自の研究内容の妥当性や順序について考えておく。
		事後学習	再び研究の内容の確認、改めて添削や補足を行う。
第 1 5 回	まとめ・研究論文提出	事前学習	授業を振り返り、書いた内容を初の研究論文として提出する。